

シリーズ 第73回 人権



子どもも一人の人間です

我が家には幼稚園に通っている男の子がおり、休みの日には、家族で中勢グリーンパークに出掛けることがあります。そこは親子連れでいっぱい、子どもたちはすべり台やブランコなどの遊具で遊んだり、ボール投げをしたり、自転車に乗ったりして、誰もが楽しく過ごしています。

そんな中、私は我が子の成長を気にするあまり、周囲の子たちと比べてしまい、他の子にできて、我が子にできないことがあると、家に帰ってから「何でできないの？」と何度も言ってしまうことがありました。

しかし、家族で子育ての講演会に行ったのがきっかけで、我が子との接し方が変わりました。講師の話は、親が子どもの気持ちを理解していなければ、子どもに向かってどんなに大切なことを言っても、子どもの心にシャッターが下りてしまい、親の思いは届かないこと、しかしその一方で、親は子育ての全てに責任を持ちなさいという内容でした。

私は普段我が子と接する機会が限られていて、一緒に過ごすまとまった時間を持つことができるのは週末くらいです。そのような状況で、いろんなことができるようになってほしいという親の思いだけが先走ってしまい、肝心の我が子の気持ちを聞いていなかったことに気が付きました。また、いつも親として、子どもの立場に立って接していたか、子どもの視点で考えていたかなど、考え直すべきところが多々ありました。

子どもも一人の人間です。好きなこと、嫌いなこと、得意なこと、不得意なことなど、誰にでもあるものです。そして、性格も一人一人違います。

だからこそ、自分の価値観を押し付けたり、気持ちを無視したり、他の子と比較したりするのはなく、小さくても一つの人格を持った人間として理解し、その個性を大切にしていきたいと思います。

(40代 男性)

人権豆知識

知っていますか？ 「人権擁護委員」

人権擁護委員は、法務大臣が委嘱した民間ボランティアで、人権相談を受けたり、人権の考えを広める活動を行っています。市内では、津地方法務局内の常設相談所で、主に面接や電話による人権相談(土・日・祝日を除く)に応じるほか、市内各所で特設相談所を開設しています。詳しくは、毎月広報津16日号に掲載していますので、ご利用ください。